

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

マイクロプラスチックについて

事務局 南部 章

環境問題への関心が高まる中、最近、マイクロプラスチックの海洋汚染が話題になっています。陸上で廃棄されたプラスチックが河川を通して、海洋に流れ出ています。農薬等、陸上における汚染物質がやはり河川を通して海洋を汚染しますが、マイクロプラスチックも例外ではないようです。

普段何気なく便利に使っているプラスチックですが、様々な分野で利用されています。また、ごみの収集のおりにはしっかり分別廃棄していても、意識せずにマイクロプラスチックの海洋汚染に加担しているようです。衣類を家庭用洗濯機で選択するたびに、マイクロプラスチックが発生します。世界の繊維消費量の60%以上が合成繊維で占められていますから、78億の世界人口から類推すると決して無視できない数量になってしまいます。

また、自動車のタイヤからもマイクロプラスチックが発生します。タイヤの外側はスチレンブタジエンゴムという合成ポリマーや天然ゴム、添加剤から成り立っています。タイヤが走行中に摩耗して風に吹き飛ばされたり雨で洗い流されたりします。また、道路標識でも路面標示には塗料が多く用いられておりますが、国によっては熱可塑性物質が使われています。これらの塗装も風雨に晒されて劣化し、洗い流されていきます。

普段使用している容器包装以外にも、思いかけない所でプラスチックが使用されているようです。

マイクロプラスチックの環境に及ぼす影響が懸念されていますが、破碎されたプラスチックが、魚類の消化管から検出されたという報告もあります。また、マイクロプラスチックには疎水性の物質を吸着する性質が有り、残留性有機汚染物質(POPs)の生態系への影響も気に懸かります。様々な面で、海の恩恵にあずかっている私たちですが、海洋が汚染されてしまうと取り返しのつかない事になってしまいます。マイクロプラスチックもその一つと言えるでしょう。

人間が生活を営む上で、必要不可欠な素材になっておりますが、今後の世代のためにも、しっかりと管理していくことが肝要と考えております。

《幹事会のうごき》 令和5年9月15日(金)に本年度第5回幹事会を(一財)日本水産油脂協会2階会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・研修会について検討し、11月に埼玉県坂戸市にある城西大学を訪問することにした。詳細については、期日が近くなりましたら会員各位へ改めて連絡を差し上げます。
- ・会員を対象としたアンケート調査について、内容に関する案が示された。
- ・2023年10月4日から6日まで開催される「食品開発展 2023」において、本協会が展示するポスターについてその内容が検討された。

《2023年8月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2023年8月			2023年1月～8月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
2,229	755,485	339.0	14,790	5,244,462	354.6

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2023年8月	2023年7月	2022年8月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	5,300	5,325	3,238

《情報》チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2023年第38週	2023年第37週	2023年累計	2022年累計
チリ	7,015	7,278	1,306,064	1,340,722
ペルー	0	0	808,033	2,657,861